

■日本赤ちゃん学会保育実践科学部会早春セッション開催のご案内

近年、保育における不適切な関わりの事例が報道等で複数報告され、その対応が急務となっています。背景として、保育にあたる人員配置の問題や多岐にわたる業務負担、保育者の適性など、いくつもの要因が取り上げられています。その中で、今回のセッションでは私たちヒトの子育ての生物学的な成り立ちに着目し、ヒト以外の動物の子育てから見えてくる養育行動の特徴や第三者の関わりについて齋藤慈子氏（上智大学）からご講演いただきます。また、保育実践者の立場から見た、不適切な関わりの現状と有効な防止策について、檜崎雅氏（社会福祉法人摩耶福祉会 幼保連携型認定こども園 るんびにこどもえん）にもご講演いただきます。さらに、不適切な関わりの起こりやすい場面やその防止に向けての保育実践者自身の意識について、現在行っている調査結果を共有する予定です。パネルディスカッションでは遠藤利彦氏（東京大学保育実践政策学センター）を加え、議論を深めたいと思います。

●日時：2024年3月16日（土）13:30-16:10

●プログラム

- ・講演「生物学から見たヒトの子育て—関わりが多様性とその意味を考える」齋藤慈子（上智大学総合人間科学部心理学科）
- ・講演「保育現場の真ん中から垣間見える不適切な関わりとその防止策」檜崎雅（社会福祉法人摩耶福祉会 幼保連携型認定こども園 るんびにこどもえん）
- ・調査報告「不適切な関わりについての保育実践者調査報告」麦谷綾子（日本女子大学人間社会学部心理学科）
- ・パネルディスカッション：講演者＋遠藤利彦（東京大学保育実践政策学センター）

●会場：オンライン（Zoom）開催

●定員：100名

●参加費：無料

●お申し込み：<https://forms.gle/TepPHZNQZ8Y1EhxE9>

●お問い合わせ：日本赤ちゃん学会保育実践科学部会

Email: jsbshoikubukai@gmail.com

※本セッションに向け、不適切な関わりについての保育実践者の意識調査を行っています。ご協力いただける方は下記URLからご回答ください。所用時間は約10分です。

<https://forms.gle/gJspoLgbJBtEUcrt9>